

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名 生野区
学校名 大阪市立北鶴橋小学校
学校長名 光井 栄雄

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一侧面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 25名

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語、算数、理科のいずれの教科も全国平均をやや下回る結果となった。どの教科においても実施後、「時間が足りなかった」と話す児童が多く、長文の問題を読むことに時間がかかるてしまい、最後の問題まで進むことができなかつた児童もいた。また、初めて目にするような文章や資料などに直面すると、「わからない。難しい。」と感じてしまう児童もあり、無回答率がやや高い結果にもつながっているといえる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕後半の問題になるにつれ、無回答児童の割合が増えていることから、前半の問題に時間がかかり、時間が足りなかつたことが想像される。また、記述式の解答での誤答が多く、書くことが苦手な児童が多いといえる。

〔算数〕「データの活用」に関する問題での誤答が多かった。ここでは、表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目することが重要である。一方、「数と計算」の領域の問題では、全国平均を大幅に超える正答率となっている。

〔理科〕「生命」を柱とする領域の問題の正答率が低かった。中でも、資料をもとに、表について考える問題での誤答が多く、ここでも表に対する読み取りが苦手な様子が見られる。一方、メスシリンドラーに関する問題や、鏡と光の性質の問題では正答率が高く、実験の経験が生かされていると考える。

質問紙調査より

- ・質問（5）（6）にある、スマートフォン等でのゲームやSNS、動画視聴等の時間がかなり長いことがわかる。これは、本校だけでなく全国的な傾向といえるが、スマートフォンに向き合っている時間が、日々の生活のリズムや睡眠時間にも大きな影響を与えていといえる。
- ・（7）「自分にはよいところがあるか」という質問に、「あてはまらない」「あまりあてはまらない」と回答する児童もいるため、今後は、自分のよいところについて気づいたりかんがえたりすることができるような活動を工夫していく。
- ・（26）「読書は好きか」の問い合わせでは、8割以上の児童が肯定的な回答をしている。読み聞かせや読書タイムを実施し、計画的に本に触れる機会をつくってきた成果が表れてきている。

今後の取組(アクションプラン)

いずれの教科でも、長文を読み、内容を理解する力が必要である。また、資料や図表を読み取り、そこから様々なことを判断することも重要である。

自分の意見や、読み取ったことの要点などを簡潔な文章にまとめる力も必要である。あらゆる教科や日ごろの活動の中で、文章を読むこと・書くことを意識的に取り入れていく必要がある。

今回の全国学力・学習状況調査のように、これまでに学習した様々なことがらを利用して問題を解くということについて、経験を重ねていくことも必要である。また、6年生以前の学習の知識も忘れずに定着させていくよう、デジタルドリル等を活用し、復習をする機会を多くもつようとする。

【 全体の概要 】

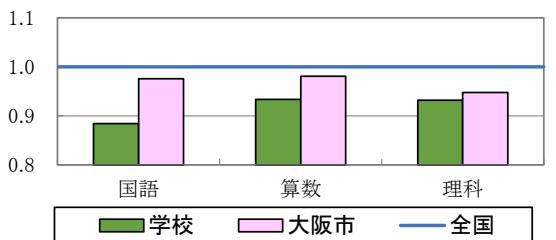
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	58.0	59.0	59.0
大阪市	64.0	62.0	60.0
全国	65.6	63.2	63.3

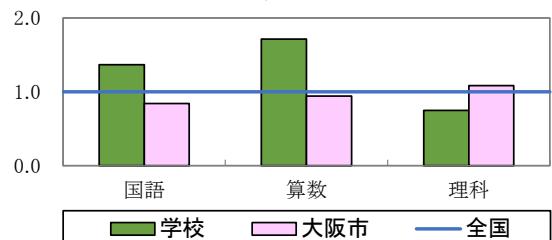
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	7.8	6.0	2.7
大阪市	4.8	3.3	3.9
全国	5.7	3.5	3.6

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



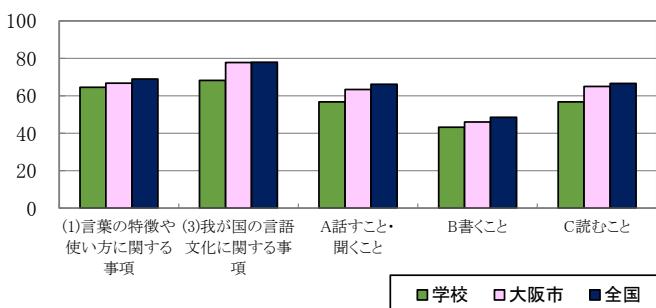
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	64.5	66.7	69.0
(2)情報の扱い方に関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	68.2	77.8	77.9
A 話すこと・聞くこと	2	56.8	63.4	66.2
B 書くこと	2	43.2	46.0	48.5
C 読むこと	4	56.8	65.0	66.6

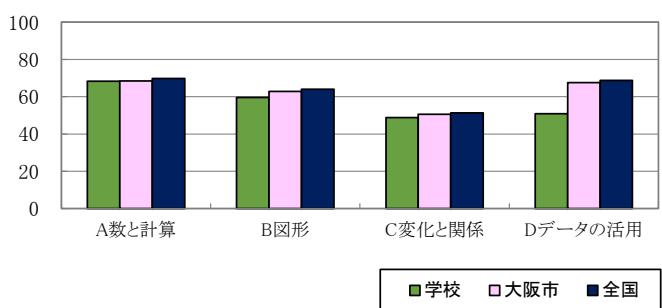
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	68.3	68.4	69.8
B 図形	4	59.5	62.8	64.0
C 測定	0			
C 変化と関係	4	48.8	50.5	51.3
D データの活用	3	50.8	67.5	68.7

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

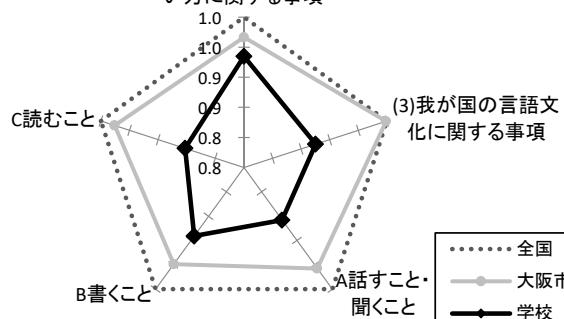


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



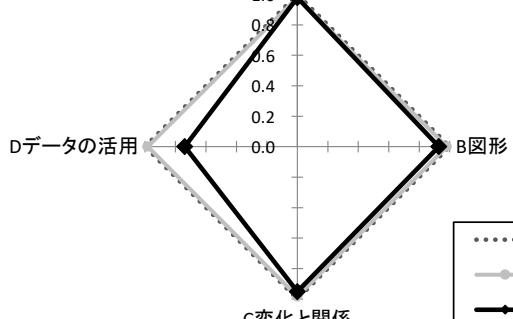
国語 領域別正答率(対全国比)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項



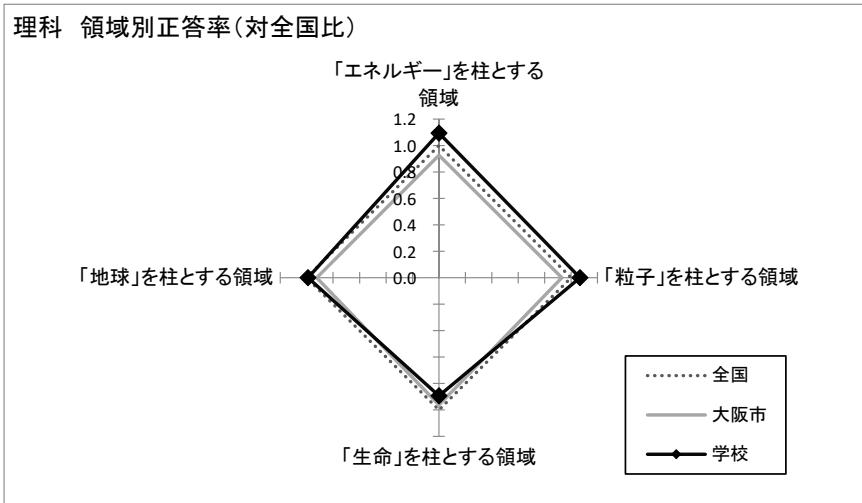
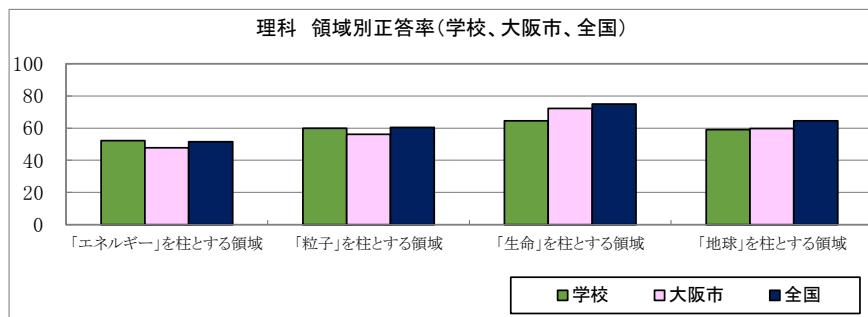
算数 領域別正答率(対全国比)

A数と計算



【 理科 】

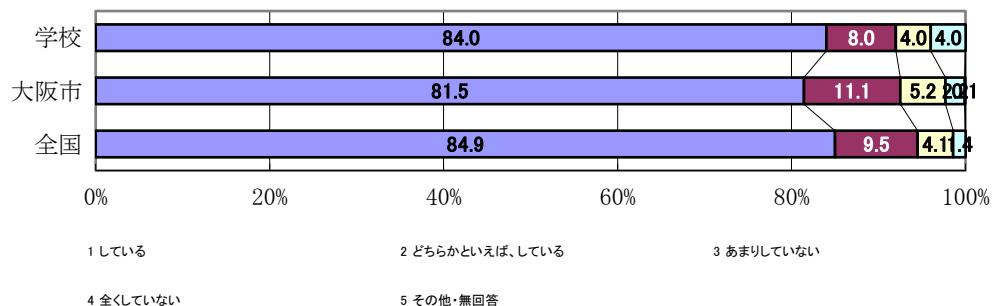
学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	52.3	47.8	51.6
	「粒子」を 柱とする領域	5	60.0	56.2	60.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	5	64.5	72.2	75.0
	「地球」を 柱とする領域	5	59.1	59.7	64.6



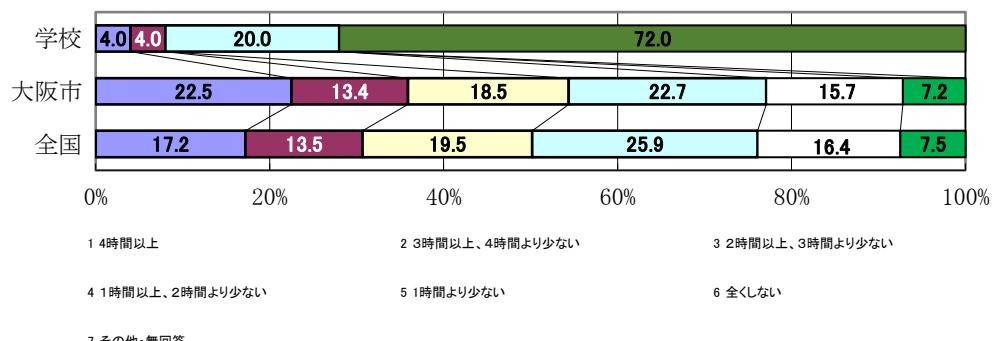
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

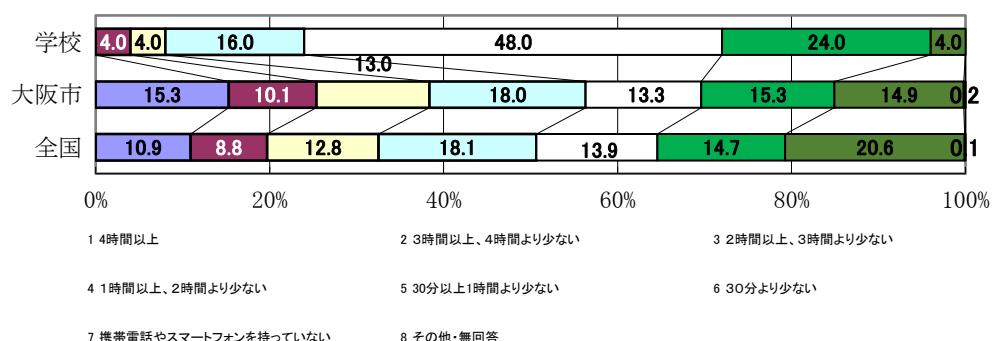
質問番号
質問事項
1
朝食を毎日食べていますか



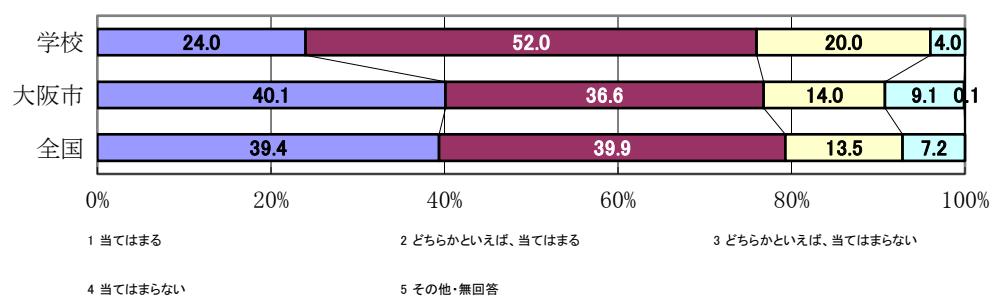
5
普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



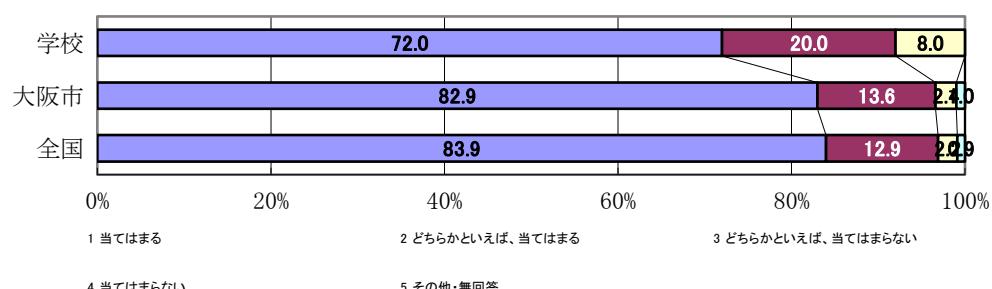
6
普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか (携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



7
自分には、よいところがあると思いますか



13
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



学校質問紙より

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

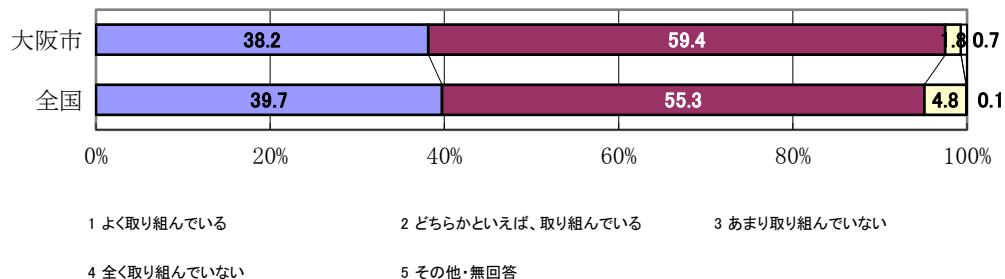
質問番号

質問事項

14

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)に取り組んでいますか

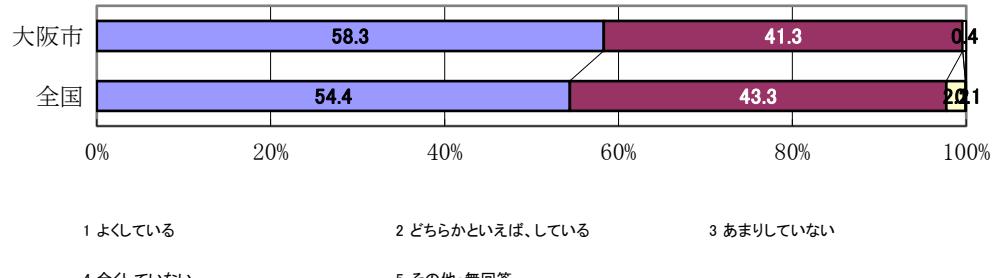
学校 「よく取り組んでいる」を選択



19

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

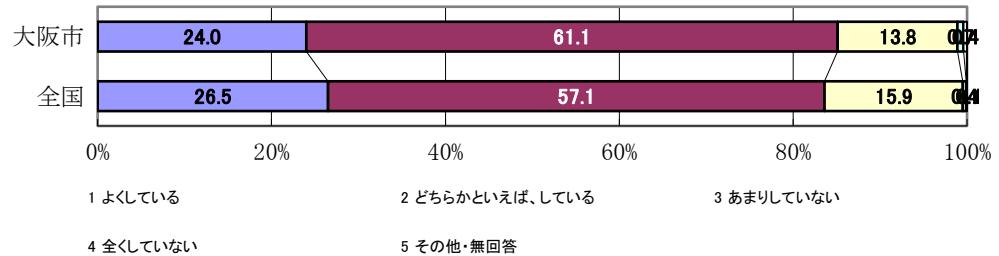
学校 「よくしている」を選択



20

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

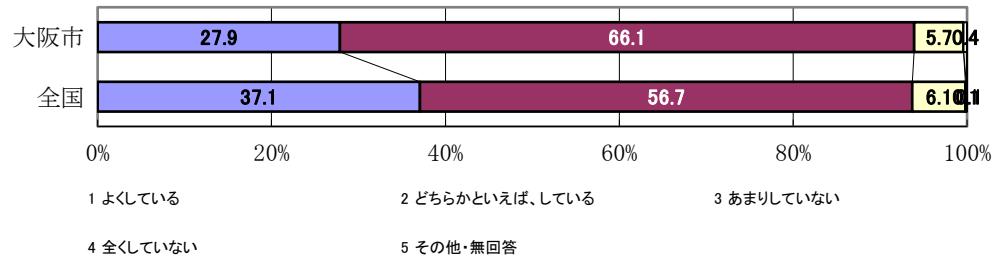
学校 「よくしている」を選択



34

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

学校 「よくしている」を選択



59

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

